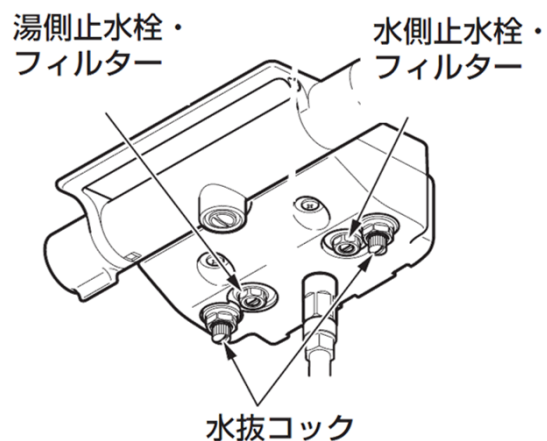


サザナ HTシリーズ Fタイプ スッキリ棚水栓アーチハンドル(寒冷地用) 天井に オーバーヘッドシャワーがないタイプ

寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

寒冷地用



凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

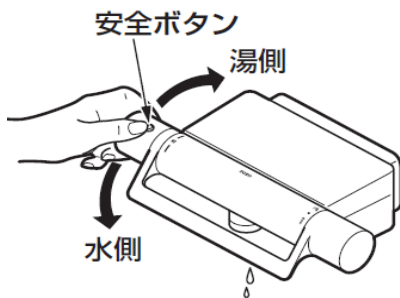
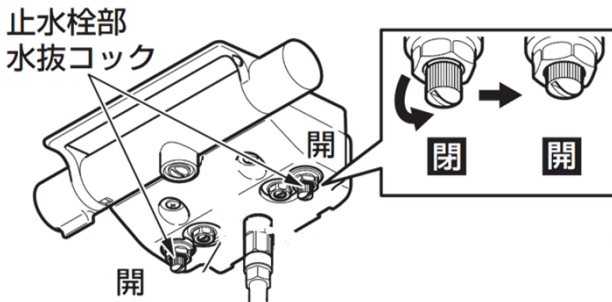
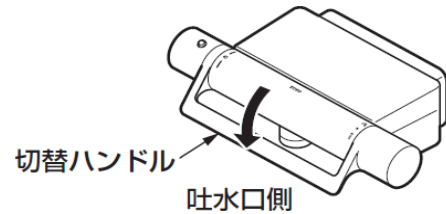
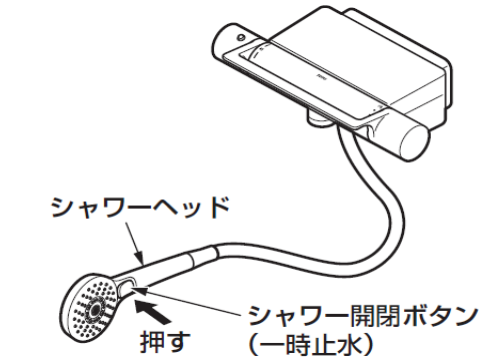
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法



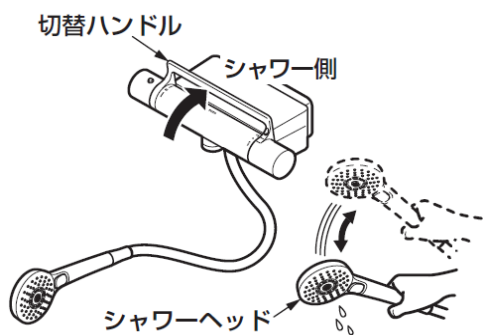
① シャワーがクリックタイプ[°]（シャワーヘッドにボタンあり）の場合は、シャワー開閉ボタンを押して“開”にする。

② シャワーヘッドを床近くに置く。

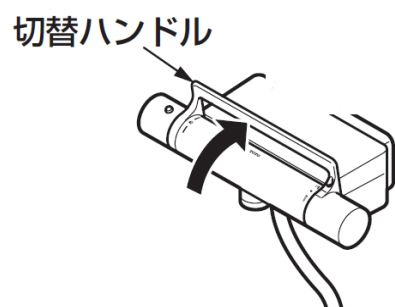
③ 切替ハンドルを吐水口側いっぱいに戻す。

④ 水抜コックをすべて開ける。
空気を取り入れ、水を抜けやすくします。
● 水抜コック：2カ所

⑤ 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇄水側と複数回切り替え、スバウトから水を抜く。
確実に水を抜くため。



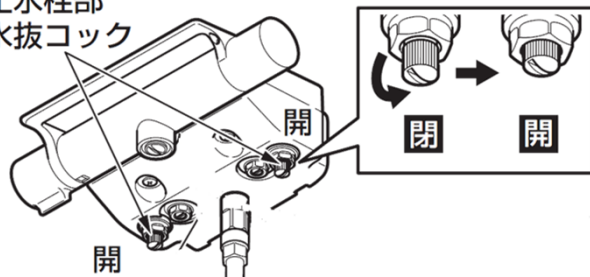
- 6** 吐水口から水が出なくなったら
切替ハンドルをシャワー側
いっぱい回してホース内の水を抜く。
- 7** シャワーヘッドは、下向きにし、よく振って中の
水を抜いてから、床に置く。



- 8** 確実に水が抜けたことを確認する。
※水抜きが不十分な場合、
凍結破損のおそれがあります。
- 9** 水抜コック・切替(開閉)ハンドルを閉める。
⇒水抜き完了

通水再開方法

止水栓部
水抜コック

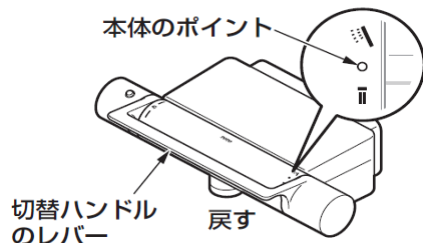


1

すべての水抜コックが閉まっていることを確認する。

●水抜コック：2カ所

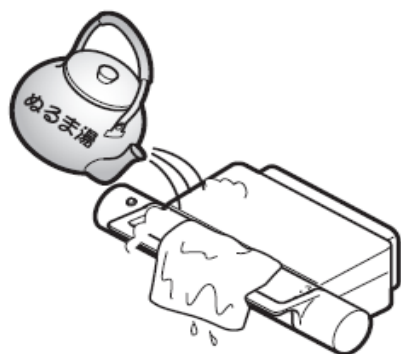
本体のポイント



2

切替ハンドルのレバーが本体のポイントの位置まで戻っていることを確認し、通水を再開する。

水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法

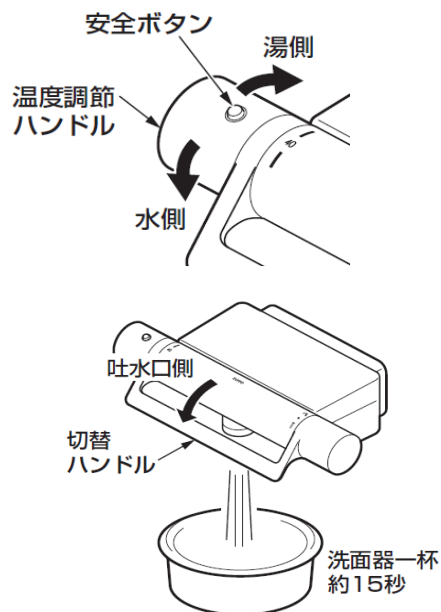


水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

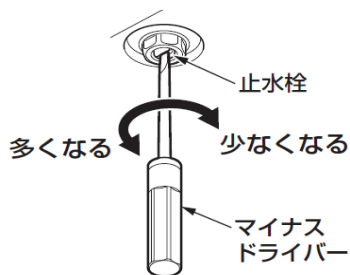
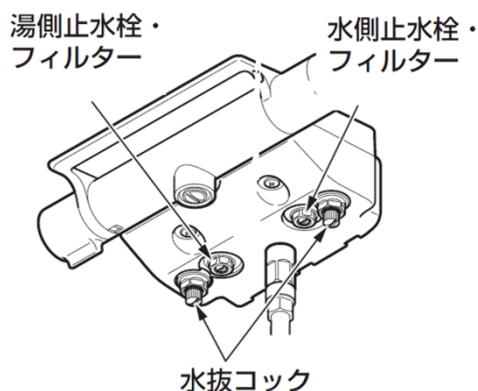


1

温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに戻し、
切替ハンドルを吐水口側いっぱいに戻す。
吐水口から水が出ます。

2

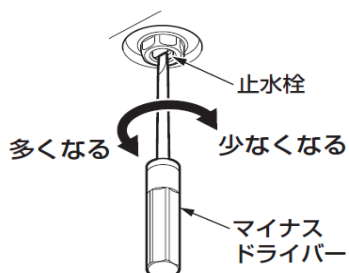
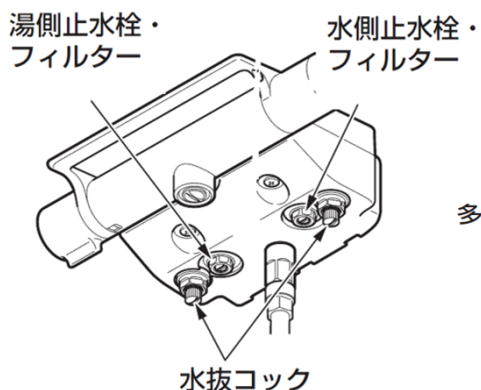
流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに
約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに
回すと多くなります。



湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。

3

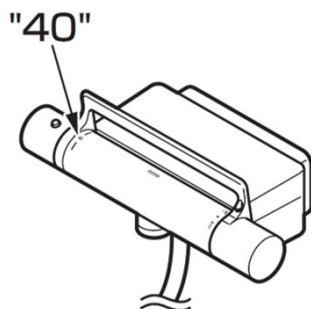
安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを
上(湯側)いっぱいに戻し、
2と同じように湯側止水栓で流量を
調節する。



万一 凍結した場合の対応方法

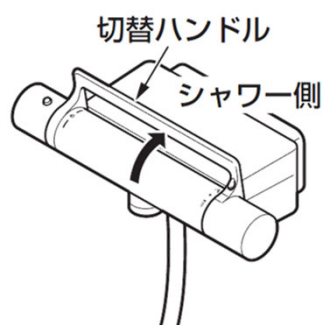


凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。



万一、凍結した場合は、
通水再開後の吐水時に温度調節ハンドルの目盛り
"40"と吐水温度があっているか確認してください。

温度がずれている場合の調整方法



1

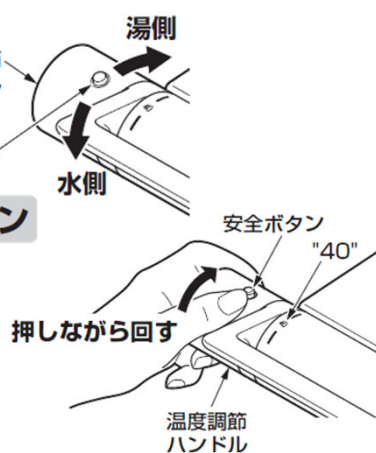
切替ハンドルをシャワー側いっぱいに戻してください。
シャワーから水が出ます。

2

温度調節ハンドルを目盛りに関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。

※温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。

安全ボタン

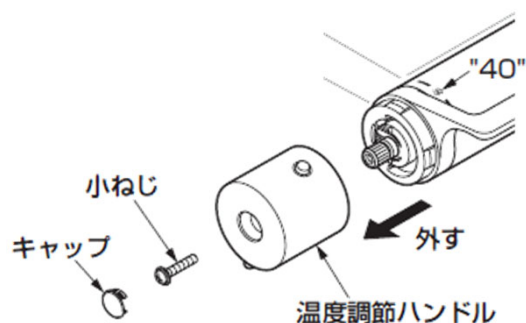
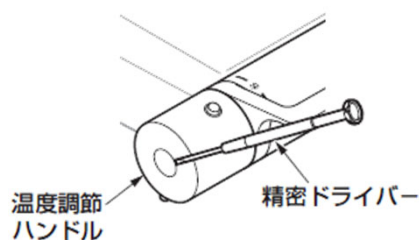


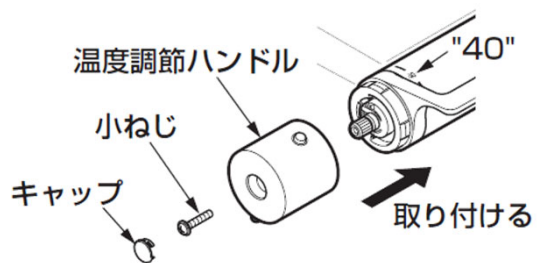
3

温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意して
キャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

※ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、ハンドルが
変形するおそれがあります。

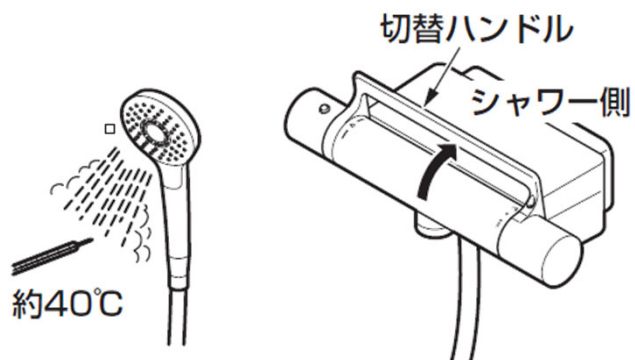




4

温度調節ハンドルを取り付ける。

安全ボタンと目盛り"40"の文字とポイントをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



5

固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。